



グループホームさざなみ京都南

鈴木 アイリーン・マニ



「さざなみに来た頃は分からないことが多かったですが、スタッフのみなさんは、いつもゆっくり優しく教えてくれたので、とても嬉しかったです。今や、介護に関する業務なら何でもできるようになった鈴木アイリーン・マニは、有限会社さざなみの第一印象についてそう語る。フレンドリーなスタッフと入居者様に囲まれて、生き生きと働く鈴木に話を聞いた。

歌手から介護の世界へ

「フィリピンでは、15歳の時から10年間ほど、バンド歌手として歌って生活していました。その後、日本からフィリピンを訪れていたNGOの職員と知り合い、「この先、どんな仕事かしたいのか」と言われ、いくつかの職業を紹介される。そこで、改めて自分の性格や育った環境を振り返ると、介護の仕事が一番身近に感じられたという。

ますね」。

歌は、日本語、英語、タガログ語など、言語もジャンルもさまざま。入居者様に特に人気があるのは演歌である。「珍鳥物語」、「天城越え」、「川の流れるように」などは、鈴木自身もその美しいメロディーが好きなこともあり、入居者様の笑顔が見たくて積極的に歌っている。「正直なところ、歌詞の意味は半分ぐらいしか分かっていません……。それでも、歌で元気になってくれるのは、嬉しいですよね」。

「一番好きな日本語は、「ありがとう」です」。

日々介護に奮闘する鈴木には、今後の目標がある。「日本語をもっと勉強します。ひらがなとカタカナは読めますが、漢字がまだまだ難しいので、早く読めるようになりたいのです」。日本語を話すことに関しては、かなり慣れてきた。しかし、漢字が読

小さい頃から祖父母のそばで育ち、大人になってからは母の代わりに祖父母の面倒を見ていたため、おじいちゃんやおばあちゃん是非常に身近な存在だったのである。

「さざなみとの出会い」

2012年に来日すると、早速、ある施設で仕事を開始する。1年ほど経った頃、英語の先生にも挑戦してみたいという気持ちになり、しばらくの間、介護の仕事からは離れて過ごした。少し距離を置いたことで、「自分はやっぱり介護の仕事が好きだ」と改めて感じたという。

鈴木は、初心に戻ろうと派遣会社に登録。2016年、まずパート社員としてさざなみに入社をした。最初は、日本語もうまく話せず、思いを伝えるのに苦労したが、さざなみのスタッフや入居者様の皆が優しく接してくれたのが何よりも嬉しかった。

めないと普段の生活で困る場面もまだまだ多い。少しずつ、着実に上達していきたいと思っている。そして、もう一つ、目標としているのが介護福祉士の資格取得だ。これまで仕事の合間に資格のための勉強を続け、2020年1月には試験を受けた。いつも鈴木を見守ってくれる他の社員の人たちに、感謝の気持ちを伝えると共に良い報告もできれば嬉しいと思っている。

周りの人たちに支えられ、さらなる成長を目指す鈴木の今後の活躍にも期待したい。



心苦しい。そのため、入居者様の要望を少しでも叶えるべく、一人であってもその場でできる範囲の対応をするよう心がけている。



歌は元気の源

鈴木には、入居者様を元気づけるパワ―がある。それは「歌」だ。「よく歌を歌いながら仕事をしています。私が歌っていると、みなさん一緒に歌ってくれますし、楽しい気持ちになって自然と体も動き出し

「介護の仕事は重労働ですし体力的には厳しいですが、好きでやっている仕事なので、大変さは感じていません」。パート社員として6か月が経つと、その明るい性格と真面目な仕事ぶりが評価され、晴れて正社員として新たなスタートをきったのである。

入居者様の気持ちに寄り添う

介護は、基本的に二人介助で行われるが、目の前に困っている入居者様がいれば、すぐに手を差し伸べたい。そのため、もう一人のスタッフが近くに見つからない場合には、一人で介助を行う時もある。

体格の大きい方は、自分一人では抱えきれないため、「早く！早く！」と言われると、困ることもある。早く対応したい気持ちは大いにあるのだが、危険が伴う介助はできない。とはいえ、ペアの人を探しに行っている間に、入居者様を待たせるのも

職場紹介

～グループホームさざなみ城東～

入居様を第一に、陰ながらしっかりとしたサポートを大切にしている山本さん。城東の様子やこれまでの苦労、今後の目標などを伺いました！

職場の雰囲気

職員は全員で17名です。介護ワーカーの中にはリーダーが2名、ケアプランの作成者が2名いて、この4名を中心に役割分担をしながら働いています。リーダーは現場での細かい作業の指示出しを行いつつ、入居様様の状況を確認します。そして、状況に応じて計画作成者がケアプランを作成し、プランに沿ってスタッフが業務を行う形です。私は管理者として、スタッフの指導や取りまとめを行っています。

心がけていること

入居様様の生活に合わせた、無理のないケアです。例えば、食事の時間にあまり食欲がない方には、食べられるものだけ召し上がっていただくか、後で個別にお食事をお出します。入居される前の生活スタイルを施設内でも保っていただくことを、とても大切にしています。自主的に行動できるように、我々スタッフが陰ながらサポートしているのです。

気になるあのひと

松原晴美さん



松原さんはケアプラン作成を担当しています。元気な方で、入居様様を不安にさせないような接し方ができ、入居様様のみならず施設のみなさんに信頼されています。ケアマネージャーも兼務していて、スタッフのフォローを行う中心的な人物です。ケアプランの作成や指導、スタッフの相談にも乗るなど、入居様様の状況をすべて把握しながら、幅広く活躍しています。

管理者

やまもと みちよ
山本 美千代さん



スタッフとの思い出

2019年の頭に5名のスタッフが辞めてしまい、人手が足りず苦しい時期がありました。スタッフ全員で協力し、クタクタになりながらどうにか乗り越えました。今振り返ると、悔しく歯がゆいことも多かったのですが、その経験があったからこそスタッフ全体で結束し、連帯感のある職場になったのだと思います。その時のメンバーが、現在中心的に活躍している4名のスタッフたちです。

今後の目標

業務負担が重く苦しい時期もありましたが、今は職員数が増えてどうにか落ち着いてきました。現在は全部で3フロアあるうち2フロアのみ運営することで、利用者様の人数を絞っていますが、今後はより多くの入居様様を受け入れたいと考えています。見切り発車はせず、スタッフの教育を徹底することで受け入れ体制を確立し、安定してより多くの入居様様を迎えることが目標です。



グループホームさざなみ加納
おおひがし きよこ
大東 聖子さん



さざなみ加納

大東さんのココがスゴイ！

いつも入居様様やご家族、スタッフに寄り添う大東さん。頼れる職員として日々活躍されています。そんな大東さんのスゴイところを改めてグループホームさざなみ加納の皆さんに聞きました！

Q1 大東さんのすごいところを教えてください！

Q2 大東さんへ日頃の感謝やメッセージをお願いします。



介護職
うへだ みえこ
上田 三枝子さん

Q1 声掛けがとても優しい方です。いつもさり気なくフォローしてくれます。また、手作りカレンダーの絵がお上手です。

Q2 失敗してもいつも助けていただき、感謝ばかりです。ありがとうございます！



ヘルパー
ながさわ なお
長澤 奈緒さん

Q1 入居様様に優しく声掛けをするだけでなく、日勤で終わらなかった業務を夜勤で終わらせてくださるので、非常に助かっています。また、2か月に1回カレンダーも作ってくれています。

Q2 仕事、プライベートに関わらず優しい声を掛けてくださっています。いつもありがとうございます！



介護職
あさだ ていこ
麻田 貞子さん

Q1 いつも穏やかで、どんなときも取り乱すことなく落ち着いた介護をされており、見習うことばかりです。

Q2 スポーツウーマンでもあり「主人とテニスの練習に行くのよ～」と夫婦仲の良いところも見せてもらっています。これからも長く一緒に働きたい方です。



調理
もりにし ともこ
森西 朋子さん

Q1 体調が悪く部屋で寝ている方にぬいぐるみを持って声を掛けるなど、入居様様思いの人柄が素敵です。また、展示物を描くなどの特技も職場で活かされています。

Q2 いつも優しい言葉で声を掛ける姿にホッとしています。協力的で話しやすいところが好きです！